

ちくりんの郷を満喫

## 泊野観光たけのご園

3月25日と4月1日、泊野観光たけのご園が開園されました。このイベントは泊野区活性化委員と泊野地区筍生産組合が主催し、今年で15回目を迎える本町の恒例行事です。

今年は、約170人の参加があり、遠くは福岡県からの参加者もいました。

たけのご掘りでは地元生産者の協力をもらいながら、不慣れな山鉾を一生懸命使ったけのこを収穫する風景が見られました。

鹿児島市からおばあちゃんと参加した橘木健太くん(小学5年)は「たけのご掘りは初めての体験です。掘るのは難しく大変だが、上手く採れたときは、うれしい」と、たけのご掘りを楽しんでいました。



たけのご掘りを楽しむ橘木健太くん

たけのご掘りの後は、泊野地区林業集会所で、地元女性グループが丹精込めて作った「たけのご料理」を味わいながら、「みやんじょ五ツ太鼓雲母流」の演奏や、おいしい「きらら米」が当たる抽選会も行われ大いに盛り上がりました。

また会場では、地元農産物販売や餅つき、味噌作り体験(JAさつま協力)などもあり、参加者は地元住民と交流を深めながら楽しんでいました。



たけのご料理と五ツ太鼓を楽しむ参加者

3月26日、平成9年に北薩地方を中心に発生した鹿児島県北西部地震から10年目を迎え、町では、午前7時震度6の地震を想定した職員非常召集訓練が実施されました。

午前7時18分、電話や携帯電話メールで課長以上と総務課職員を召集。午前7時55分に災害対策本部を設置し、召集時間や迂回路など交通対策網の確認が行われました。

町独自の「てんがらなび」を使った携帯電話メールの召集では、携帯電話会社によって、メール到達時間に30分ほど時間差が出るなど情報伝達に課題を残しました。

### 職員非常召集訓練

震度6を想定



災害対策本部の様子

井上町長は「今回の職員召集訓練で、携帯電話メールの課題など、日頃の訓練の必要性を改めて感じた。今度は、町民と一緒に万全を期したい」と話しました。

## 心豊かな相談役を目指して 民生委員児童委員協議会 定例研修会



自分の体験を基に講演をする石塚勝郎氏

3月23日、民生委員児童委員協議会定例研修会が鶴田中央公民館で行われました。

これは、委員の資質向上のため年間を通して行われる研修会のひとつで委員約90人が参加しました。

研修会では、本町鶴田出身の元薩摩川内市教育長でNPO日本教育カウンセラー協会鹿児島県支部長の石塚勝郎氏が「心豊かに前向きな人生を」という演題で講演され、幼少時代の体験や母親の介護体験などを基に「相談を受ける者が心豊かでないといけない」と話されました。

また、今回は財政課長から町民一人当たりの貯金・借金残高など町の財政状況についての説明を受け、委員からは、厳しい財政状況になった要因や更なる行財政改革を求める意見が出されました。